

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

介護老人保健施設における集団反復起立練習の参加が身体機能の維持・向上に与える影響
—入所時から約6ヶ月間の縦断データを用いた後ろ向き観察研究—

2. 研究の対象患者

2020年4月～2024年9月迄にシルバーケアセンターへ入所した者のうち、入所から150日以上入所していた男女50名

・選択基準

以下の基準を全て満たす入所者を対象とする

- 1) 旭中央病院、その他医療機関、介護施設、自宅からシルバーケアセンターに入所した者
- 2) 年齢は65歳以上

・除外基準

以下のいずれかに抵触する入所者は本研究の対象外とする

- 1) 認知機能評価においてHDS-R、MMSEが5点未満の者
- 2) 入所3ヶ月以内に退所した者
- 3) 日常診療の評価に対して非協力的であった者
- 4) ADL全介助の者
- 5) 2020年4月時点で既にシルバーケアセンターに入所していた者

3. 研究の対象期間

2020年4月～2025年3月31日

4. 研究の概要

日本では2040年に向けて高齢者人口の更なる増加が予測されており、医療・介護費の抑制と生活機能の維持は社会的な課題となっている。

介護老人保健施設(以下、老健)は、在宅復帰・在宅生活支援を目的に中間施設として機能しており、特に入所後3ヶ月以内は医師の指示のもと個別リハビリが充実して行われる。しかし、3ヶ月以降はリハビリ提供量が制限される制度的背景がある。これにより、入所者の身体・認知・生活機能の維持が困難になるリスクがあるが、それを検証した研究・報告は非常に少ない。

当施設では、入所から3ヶ月以降の機能維持を目的として、平日毎日25分間の集団反復起立練習を継続的に実施している。本研究では、評価時点(入所時、3ヶ月後、6ヶ月後)の身体機能等の変化に注目し、集団反復起立練習が機能低下の予防に寄与しているかを明らかにすることを目的とする。

5. 研究実施予定期間

2025年7月16日～2026年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

ベースライン:生年月日、年齢、性別、身長、体重、MNA、入院に至った主たる診断名、既往歴、合併症、疾患カテゴリ、入所時点の要介護度、同居家族の有無、入所前介護サービス利用の有無、入所目的、入所元、入所日

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後ろ向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者(又は代諾者)個々に開示することはありません。

ません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

（連絡先） 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・ 研究責任者： リハビリテーション科 吉川尚樹
- ・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)